

No.  
**126**

北里大学病院ニューズレター  
「窓」

# Mado



診療科紹介 内視鏡センター

**北里大学病院・内視鏡センターの役割**  
**－低侵襲な大腸腫瘍の内視鏡治療－**

診療科紹介

内視鏡  
センター北里大学病院・内視鏡センターの役割  
－低侵襲な大腸腫瘍の内視鏡治療－

北里大学病院 内視鏡センター長  
北里大学医学部新世紀医療開発センター  
横断的医療領域開発部門 下部消化管内視鏡学 教授

小林 清典

## はじめに

北里大学病院の内視鏡センターは、2014年5月に新病院が開院するのに合わせて開設された新しい部門です。このたびは内視鏡センターで行っている内視鏡検査や施設の特徴について紹介いたします。なお内視鏡センターでは、内視鏡を用いて多くの病気の診断や治療を行っています。そのなかで自身の専門領域の一つである大腸のポリープやがんについて、内視鏡検査を診断や治療にどのように活用しているか説明いたします。

## 内視鏡センターで行う内視鏡検査

内視鏡センターでは、消化器内視鏡検査、呼吸器内視鏡検査、耳鼻咽喉内視鏡検査など、年間約1万7千件の内視鏡検査を行っています。内視鏡センターで行う内視鏡検査は、上部消化管内視鏡（胃カメラ）、下部消化管内視鏡（大腸鏡）、超音波内視鏡、気管支鏡、喉頭鏡など病気の診断を目的とする内視鏡検査とともに、一般病院では行うことが難しい食道・胃・大腸の早期がんや胆道・膵臓疾患などに対する高難度の内視鏡治療も数多く行っています。さらに消化器内科と上部消化管外科との合同による腹腔鏡・内視鏡合同手術、消化器内科と耳鼻咽喉科との合同による内視鏡的咽喉頭手術、局所遺残再発食道がんに対するPDT半導体レー



ザーによる光線力学的療法などの先進的な内視鏡治療も積極的に行っています。内視鏡センターでは多くの診療科の医師と看護師、内視鏡技師、事務職などがワンチームとなって、内視鏡検査を行っています。

## 内視鏡センターの特徴

内視鏡センターの施設の特徴として、12部屋の内視鏡検査室（2部屋はX線透視装置付き）を配置し、総床面積は1100平方メートルで大学病院の内視鏡センターとしては日本最大級の規模を有しています。施設の特徴としては、①センター内に大規模なリカバリー室（回復室）を有しており、鎮痛・鎮静薬を使用した内視鏡検査や大腸ポリープの内視鏡治療を終えられた患者さんなどが、安全かつ安心して休息できる場を用意しています。②大腸内視鏡検査を受ける患者さんには、検査前に腸管洗浄液を服用していただきますが、余裕をもって大腸の前処置を行えるよう前処置スペースに多数のトイレを有しています。③内視鏡センター内の検査室や回復室の状況を把握できるよう、前処置室や所見コーナーなどに大型の監視モニターを設置し、内視鏡検査が安全に行えるように努めています。

## 大腸腫瘍について

大腸腫瘍には良性ポリープや悪性のがんなどが含まれますが、とくに大腸がんの患者数が増加しています。悪性腫瘍による死亡原因のなかで大腸がんは女性の1位、男性の2位を占めています。大腸がんは発育が比較的遅く、他臓器のがんと比べ予後が良い場合が多い



内視鏡センタースタッフ

ですが、大腸壁に深く浸潤すると周囲のリンパ節や肝臓などに転移しやすくなります。なお大腸ポリープのなかで最も多い腺腫という種類のポリープは、良性腫瘍で転移することはありませんが、発育して大きくなるとがんを合併する場合がありますことからがんの前段階の病変と認識されており、大腸内視鏡検査で発見したら内視鏡を用いて切除する必要があります。大腸ポリープを内視鏡で切除することは、大腸がんを発病する患者数の抑制に役立つことが大規模な調査で明らかにされています。内視鏡センターでは大腸ポリープの内視鏡を用いた切除を年間1900件前後行っています。

### 大腸内視鏡による精密診断

大腸ポリープを内視鏡で発見したら、ポリープが腫瘍性か非腫瘍性か、腫瘍の場合は良性か悪性（がん）か、がんの場合は大腸の壁にどの程度浸潤しているか判断する必要があります。大腸ポリープが腫瘍性の場合は切除が必要ですが、内視鏡を用いて切除できる病変か外科手術が必要な病変か、内視鏡で診断する必要があります。大腸ポリープを観察する大腸内視鏡の性能や解像力は日々向上しており、腫瘍の発見や診断に役立っています。とくに大腸ポリープで腫瘍を疑う病変には、顕微鏡のような拡大観察や特殊な光（NBI：narrow band imaging）を用いた精密な内視鏡観察を行うことができ、腫瘍が良性か悪性（がん）かの鑑別や、がんの場合は進行度の診断に有効性を発揮しています（図1）。さらに内視鏡センターには超音波内視鏡という種類の内視鏡を備えており、腸の中から大腸腫瘍に直接超音波を当てることで、がんの場合は大腸壁にどの程度浸潤しているか、モニターに映し出された超音波断層像から客観的に診断することができます。

### 低侵襲の内視鏡治療

大腸がんと診断されたら手術が必要と考えている方が多いと推察しますが、早期の段階で診断できれば低侵襲の内視鏡治療が可能です。大腸粘膜は知覚神経がないため、高周波電流を用いてがんの部分を根こそぎ切除することが可能です。勿論、全ての大腸がんが内

視鏡で切除できるわけではなく、がんが大腸壁の表層（粘膜層から粘膜下層の浅層）にとどまっていることが条件になります。それより深くがんが浸潤している場合は、周囲のリンパ節などへ転移している可能性がでてく

るため手術が必要になります。低侵襲の内視鏡治療を受けるためには、早期の段階で大腸がんを診断する必要がありますが、早期のがんは出血や痛みなどの自覚症状がでないため、検便を用いた大腸がん検診を積極的に受けることをお勧めします。

大腸腫瘍の内視鏡を用いた切除は、従来内視鏡先端から出したスネアという幅2cm程度の丸いワイヤーで病変部を包んでから根本を締め付け、高周波電流の熱で切除する方法で行ってきました。しかし、スネアを用いた切除法では、2cmを越える大きな腫瘍は一括で切除することが困難でした。そこで13年前から内視鏡的粘膜下層剥離術という方法を導入し、2cmを越えるような大きな腫瘍でも内視鏡を用いて切除することが可能になっています。大腸がんは早期発見できれば低侵襲の内視鏡治療で治すことが可能ですので、今後も大腸がん検診の啓発や、大腸内視鏡による診断や治療法の進歩に携わっていきたいと考えています。



図1 大腸内視鏡検査で見つかった早期の大腸がん



内視鏡センターHP

### 地域の先生方へ

いつも患者さんをご紹介いただきまして、ありがとうございます。胆道・膵臓疾患や消化器症状（吐・下血や下痢、腹痛など）がある患者さんの緊急内視鏡検査は勿論、便潜血陽性の精密検査や大腸ポリープの経過観察などのご紹介も、責任をもって拝見させていただきます。今後とも、よろしくお願いいたします。

### Profile / 小林 清典 (こばやし きよのり)

- 1983年 北里大学医学部 卒業。北里大学病院消化器内科 研修医、北里大学医学部消化器内科学 研究員、小田原市立病院消化器科 医長を経て1995年7月 北里大学医学部消化器内科学 講師、2012年3月 同 診療准教授。2014年2月北里大学医学部新世紀医療開発センター 准教授。2018年4月北里大学病院 内視鏡センター長。2019年11月北里大学医学部新世紀医療開発センター 横断的医療領域開発部門 下部消化管内視鏡学 教授。
- 医学博士、日本消化器内視鏡学会（指導医）、日本消化器病学会（指導医）、日本大腸肛門病学会（指導医）、日本内科学会（認定医）

## 北里大学病院 皮膚科外来への患者様のご紹介について

当院皮膚科では、新規の患者様の増加により、ご紹介患者様並びに再診・予約患者様の待ち時間が非常に長くなっております。特定機能病院として担うべき高度先進医療の推進、急性期医療における適切な診断・治療が困難な状況になることを懸念し、2021（令和3）年9月より原則的に紹介外来制を取らせていただくこととなりました。そのため、紹介状のない初診・再初診の患者様におかれましては、かかりつけ医の受診をご案内させていただくこととなります。

ご紹介いただける患者様には診療情報提供書をお渡しいただきますようお願いいたします。

### 患者様へお知らせください……診療予約について

#### 初診の方には

当院での診察が初めての方には、当院宛ての紹介状をお渡しください。

#### 初診の際に必要なもの

- 健康保険証（その他医療証等）
- 紹介状（検査、画像データ等も含む）
- お薬手帳

※外来診療申込書は、受診当日に受付でお渡ししますが、事前に当院HPからダウンロードのうえご記入、ご持参いただくことも可能です。

#### 再診の方には

電話予約センターで、事前に診療の予約が必要です。

☎ **042-778-8855**

**受付時間** 月～金 午前8:30～午後5:00  
土 午前8:30～午後12:00  
※第2・4土曜、日祝日、年末年始は休業

#### 「診察券・保険証・お薬手帳」を忘れずに

受付機・精算機等で**当院の診察券**が必要です。

**診療受付時間は午前8:20～午前11:00**です。

※一部受付時間が異なる診療科、午後診療を行う診療科があります。

## 外来受診および入院に関する相談について（医療機関専用窓口）

病院・診療所からの外来受診および入院に関する相談の専用窓口を、トータルサポートセンターの看護師が担当いたします。ご相談につきましては、下記へご連絡いただきますようお願いいたします。

#### 電話番号

☎ **042-778-8971** (直通)

#### 対応時間

月～金 8時30分～17時  
土（第1・3・5） 8時30分～12時

※上記以外の日時は病院の代表番号へご連絡ください。

☎ **042-778-8111** (代表)

#### 〈お願い〉

- 外来受診および入院に関する相談の際は、診療科をご指定いただきますようお願いいたします。
- 複数診療科の調整を要する場合等は、返答までに時間をいただくことがございますので、ご理解の程お願いいたします。
- 当院にて診断や治療方針が確定し、医学的にも他院での診療が可能と考えられる患者様につきましては、ご紹介いただいた医療機関、あるいは近隣の病院、診療所等で治療、療養の継続をお願いしております。